



アジア太平洋障害者連携
フォーラム **2019**
in パキスタン

「チャリティから投資へ」障害者課題
解決に向けた新たな視点を導入する

マイルストーン障害者協会

99-H1, Wapda Town, Lahore

www.milestone.pk

アジア太平洋障害者連携フォーラム 2019 in パキスタン

「チャリティから投資へ」障害者課題解決に向けた新たな視点を導入する

会場：ニシャット・ホテル、エンポリウム・モール、ラホール

時間：9:00-17:00

日付：2019年10月21日・22日



参加者集合写真

報告者: Ashar Virk 氏 (マイルストーン障害者協会所属)

フォーラム開催の背景

日本障害者リハビリテーション協会（JSPPD）と日本財団は、主にアジア太平洋地域出身者からなるダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業と JICA（国際協力機構）の研修生・研修員間、およびそれぞれが所属する障害者団体間のネットワーク構築と協働体制構築を奨励し取り組んできている。私たちはインクルーシブ社会を実現する新しい可能性のある、課題解決モデルを導入するために障害者団体によるネットワーク構築が進展することを目的として、パキスタンにおいて上記タイトルのフォーラムを開催することとした。

パキスタン政府は 2011 年 6 月に国連障害者権利条約を批准し、障害のある国民を守るという国の意志を示してきた。しかしながら変化の進み方は比較的緩慢であり、障害のある人たちには決して及んでいない。従って、パキスタンの障害のある人たちに適切な政策を導入することは重要であり緊急でもある。障害者は認められ、安心を与えられ、受け入れられなければならない。フォーラムではパネルディスカッションで障害のある人たちの基本的課題に取り組んだ。



フォーラムはパキスタンのラホール市で開催され、アジア太平洋諸国・地域の障害者リーダーを含む代表団およびパキスタンの要人が出席した。フォーラムには多数の障害のある人たちが所属する障害者団体を代表して出席した。パンジャブ州知事 Muhammad Sarwar 氏を始めとする政府関係者、パキスタン・ベイト・ウル・マール（PBM）理事長 Aun Abbas Buppi 氏、デイリー・パキスタン編集長 Mujeeb Ur Rehman Shami 氏、AKHUWAT 財団会長 Amjad Saqib 氏、寺島彰氏（JSRPD）、JICA パキスタン事務所次長尾上能久氏、ARUN LLC 代表功能聡子氏、駐パキスタン日本国大使松田邦紀氏も出席された。

2019年10月21日フォーラム報告

フォーラムは Hafiz Farhan 氏による神聖なコーランの朗読で開始された。開会式ではパキスタンと日本の国歌が演奏されて正式にフォーラムが開会された。マイルストーンの代表 Shafiq Ur Rehman 氏により歓迎の挨拶と参加者への心からの感謝の念が述べられた。Shafiq 氏は参加者にパキスタンにおける障害の状況、権利に基づくすべての人の社会の構築のために、マイルストーンが行っている優れた実践および日本障害者リハビリテーション協会（JSRPD）、ダスキン愛の輪基金、日本財団、国際協力機構（JICA）、日本大使館の日本側関係者による支援の役割について概略を説明した。

ダスキン愛の輪基金、日本財団など日本の名高い団体からフォーラムの成功祈念のメッセージ、および参加者への挨拶のメッセージがビデオで流された。



Shafiq 氏に壇上に招かれた JICA パキスタン事務所次長尾上能久氏は、フォーラム開催について主催者に感謝を述べ、パキスタンにおける JICA の役割と領域、またすべての人のより良い未来のために非政府機関や様々な政府部門をどのように支援しているかについて参加者に説明した。JICA による技術支援は最善の貢献ができるように多数の官民機関のサービスを向上させた。

AKHUWAT 財団会長 Amjad Saqib 氏はスピーチの中で、アジア太平洋諸国・地域およびパキスタンの障害のある人たちが自身の問題に取り組むフォーラムに、出席・参加しようと



この会場に来場されたことに心からの謝意を表明した。Saqib 氏は参加者に AKHUWAT の使命および障害のある人に無利子の融資を提供していることについて概略を説明した。この融資は障害のある人が小規模事業を起こし生計を立てて家族および国にとって生産的・建設的な一員となれるようにするためのものである。そして 99.99% という融資の返済率は賞賛すべきであると付け加えた。



Saqib 氏はこの国際フォーラムの主催者に感謝し、障害のある人は平等の国民であり同じ国民として生活を楽しめるように、インクルージョンのために彼らの活動を支援しなければならぬと述べた。

フォーラムの主賓である駐パキスタン日本国大使松田邦紀氏は、主催者に感謝の意を表した。特にマイルストーン障害者協会が障害のある人の権利擁護活動に携わっていることに謝意を述べ、代表の Shafiq Ur Rehman 氏と会った時の話を引き合いに出して、日本大使館では構内にスロープを設置したことが大使のアドボカシー活動であり、そのスロープは先週、Shafiq Ur Rehman 氏により開通式が行われたと報告した。松田大使は、「私たちは障害のある人すべてのより良い未来のためにできる限りどの優れた実践も支援しなければならない、障害のある人は最も周縁化された人であり、常に支援が差し伸べられることを必要としている」と言い添えた。



パンジャブ州知事 Chaudhary Muhammad Sarwar 氏はスピーチの中で、マイルストーン障害者協会、日本の代表団、フォーラム出席者が障害者問題を浮き彫りにするという、崇高な目的を持つこのフォーラムに参加していることに感謝した。Sarwar 知事はさらに、現政権は権利に基づいた施設を障害のある人に提供することに非常に積極的であり敏感であること、また、パキスタン首相が導入している障害者関連政策は近い将来、障害のある人に他の人と同じ基本的権利である当然の社会生活を保障するものであることを付け加えた。



次のセッションに入る前に要人に盾が配布された。

セッション 1:

- も タイトル: 「パキスタンの障害者団体はいかに困難に取り組み、団体の持続性を確保することができるか」
- も ディスカッション・テーマ: DPO の依存の高まり、脆弱な財政基盤

- も モデレーター・まとめ: Ghulam Nabi Nizamani 氏
- も ゲスト・スピーカー 1: Atif Sheikh 氏 (STEP)
- も ゲスト・スピーカー 2: Izhar Hashmi 氏 (PWTD)
- も ゲスト・スピーカー 3: Muzammil Islam 氏 (AAR)

セッション 1 のモデレーターとまとめ役である Nizamani 氏は、上記のゲスト・スピーカーにタイトルである「パキスタンの障害者当事者団体はいかに困難に取り組み、団体の持続性を確保することができるか」について見解を求めた。異なる障害者団体に所属するスピーカーはそれぞれの団体が行っているサービスおよびサービス提供のプロセスで直面する問題について参加者に話した。財政の脆弱性はサービス提供における主要なバリアの一つである。



昼食・文化交流プログラム

昼食時には文化交流プログラムが実施され、ギルギット・バルティスタン州のアーティストである障害のある Niaz 氏がパキスタン全州の民族音楽を楽器で演奏し、参加者を楽しませた。



日本障害者リハビリテーション協会（JSRPD）を代表し寺島彰氏はフォーラムの関係者と参加者に、権利に根ざし、バリアフリーであり、すべての人の社会を構築したことについて謝意を表した。寺島氏は JSRPD がアジア太平洋地域の障害のある人に約 10 ヶ月間のリーダーシップ研修を実施しており、現在パキスタンにいる 8 人もの卒業生リーダーは、最良のやり方でそれぞれのコミュニティのために貢献していると述べた。



セッション 2:

- も タイトル: 「広範囲のステークホルダー同士の協働が障害者問題に対する回答である」
- も ディスカッション・テーマ: 社会改革、社会的影響、体系的な取り組み、中間組織、ソリューション・モデル、善意に基づく望まぬ結果、困難にいかに取り組めるか?
- も モデレーター・まとめ: Sarwat Mirza 氏 (CBID ネットワーク・パキスタン)
- も ゲスト・スピーカー 1: Jawad Khan 氏 (CEO-PSDF)
- も ゲスト・スピーカー 2: Shahid Lone 氏 (AWT)
- も ゲスト・スピーカー 3: Tahir Malik 氏 (PPAF)
- も ゲスト・スピーカー 4: Abia Akram 氏 (PFWWD)

セッション2のモデレーターとまとめは Sarwat Mirza 氏 (CBID ネットワーク・パキスタン)。Mirza 氏は上記のゲスト・スピーカーにタイトルである「広範囲のステークホルダー同士の協働が障害者問題に対する回答である」について見解を求めた。障害者支援している異なる障害者団体に所属するスピーカーは、女性を含む周縁化された人たちのために各団体がやっているサービスについて説明した。上記に掲げた名高い団体は障害のある人にプロジェクト・ベースのサービスを提供し、権利に根ざしたすべての人の社会構築のために様々なプロジェクトを実施、支援している。



セッション 3:

- も タイトル: 「所得創出モデルを構築し、投資資金を障害者の課題解決に向けて活用する」
- も ディスカッション・テーマ: 社会的起業家、ソーシャル・ビジネス、社会投資資金、ビジネス・モデル、自営業、ベース・オブ・ピラミッド (BOP) ビジネス

- も モデレーター・まとめ : Javid Iqbal 氏 (DOABA 財団)
- も ゲスト・スピーカー 1 : Ammara Javid 氏 (ネスレ・パキスタン)
- も ゲスト・スピーカー 2 : Shahzad Waris 氏 (ユニリーバ)
- も ゲスト・スピーカー 3 : 高垣絵里氏 (ペーパー・ミラクル)
- も ゲスト・スピーカー 4 : 功能聡子氏 (ARUN LLC)

セッション3のモデレーターとまとめは Javid Iqbal 氏 (DOABA 財団)。Iqbal 氏は上記のゲスト・スピーカーにタイトルである「所得創出モデルを構築し、投資資金を障害者の課題解決に向けて活用する」について見解を求めた。異なる国際機関や多国籍機関に所属するスピーカーは提供している障害者サービスについて参加者に説明した。上記の機関はいずれも多数の雇用プログラムを立ち上げて障害のある人に雇用機会を提供している。プログラムでは可能性のある障害のある人はディーセント・ジョブが提供されインクルーシブな環境と社会が保証されている。



パンジャブ州 Complaints Cell 会長 Zubair Khan Niazi 氏はフォーラム開催を祝し、現政権が導入した障害者サービスについて話した。

盾配布式

主賓 : JICA パキスタン事務所次長尾上能久氏が来賓に盾を配布した。



2019年10月22日フォーラム報告

フォーラム 2 日目は発表とリーダーの講演が行われた。アジア太平洋諸国・地域のダスキン・リーダー育成事業卒業生とパキスタンの障害者団体の代表がさまざまなパネルに参加し、各団体のビデオ・ドキュメンタリーと活動の概要を紹介し、直面する課題や政府がどのような障害者サービスを提供しているかについて話し合った。

フォーラムに参加したダスキン・リーダー育成事業卒業生と 日本障害者リハビリテーション協会関係者リスト

フォーラムに参加したダスキン・リーダー育成事業卒業生	
Samith Mey 氏	カンボジア
Bopha Chea 氏	カンボジア
Nay Lin Soe 氏	ミャンマー
Lin Chun Chieh 氏	台湾
Kaewkul Thantipisitkul 氏	タイ
Dao Thu Huong 氏	ベトナム
Laxmi Nepal 氏	ネパール
日本障害者リハビリテーション協会	
池田直人氏	事業アドバイザー
光岡芳宏氏	企画研修部研修課
寺島彰氏	参与
高倉弘憲氏	ボランティアスタッフ

報告者: Ashar Virk 氏 (マイルストーン障害者協会所属)

基調講演：基調講演者は日本の笹川平和財団経営企画部特任調査役奥平真砂子氏。奥平氏はこれまで何年にもわたりアジア太平洋地域の障害のあるリーダーを見極め、研修を行ってきた。この点に関する奥平氏の貢献は決して忘れることはできない。奥平氏は障害者運動を始めて自国を変えた世界的な障害者リーダーの1人であり、広く世界中で認められている人物である。



歓迎の辞：パキスタン・地域に根ざしたインクルーシブ開発（CBID ネットワーク）ナショナル・コーディネーターSarwat Mirza氏は、パキスタン内外からの参加者が変化をもたらすプロセスであるこの国際フォーラムに出席していることに歓迎の意を表した。Mirza氏はCBIDネットワークがいかんにして設定目標を達成しつつあるか、また関連する有名団体がパキスタン全州の支部でいかにコミュニティのために貢献しているかについて発表した。



22 日に開催されたフォーラム 2 日目の主賓、パキスタン・ベイト・ウル・マール (PBM) 理事長 Aun Abbas Buppi 氏は、フォーラム主催者に感謝の意を述べ、パキスタン・ベイト・ウル・マール氏は最善を尽くして障害のある人の役にたつようにすると話した。そして次のように付け加えた。「私たちは障害者リーダーのアドボカシーによって病院用の車いすの代わりに特別注文のアクティブ車いすを提供するという方向にシフトした。そのリーダーたちとは Shafiq Ur Rehman 氏、Agha Hussnain Raza 氏、Asim Zafar 氏および Zahida Qureshi 氏などであるが、それぞれの町で障害のある人に移動サービスを提供するため車いす製造部門を設立した、これは称賛すべきことである。」



来賓として出席したデイリー・パキスタン編集長 Mujeeb Ur Rehman Shami 氏は、周縁化された障害者コミュニティの問題に焦点を当てるといふこのフォーラムの崇高な目的を称賛した。コミュニティでは政府によって多くの施設を奪われたものの障害者団体のアドボカシーにより、国内に建設的な変化が期待されているという。Shami 氏はマイルストーンと Shafiq Ur Rehman 氏が障害者問題に見事に焦点を当てているウェブ TV 版デイリー・パキスタンというアイデアを広めたことに感謝した。



も リーダーによるトークセッション：これらのセッションは参加型で行われ、パキスタン内外の障害者リーダーがそれぞれの団体活動について発表した。2 分間で団体を紹介し、次に障害のある人の移動と社会参加を確実にする優れた実践に焦点を当てた 3 分間のビデオを発表した。

- も 主賓・モデレーター：Umar Farooq 氏 (CBM)
- も ゲスト・スピーカー 1：Samith Mey 氏 (カンボジア)
- も ゲスト・スピーカー 2：Asim Zafar 氏 (サーヤ協会)
- も ゲスト・スピーカー 3：Riaz Baloch 氏 (TSO)
- も ゲスト・スピーカー 4：Javaid Rais 氏 (DWA)

CBM イスラマバードの Umar Farooq 氏がセッションのモデレーターを務めた。プノンペン自立生活センターの Samith Mey 氏は自身の団体、障害者サービスおよび達成した目標について簡単に紹介した。Asim Zafar 氏、Riaz Baloch 氏および Javaid Rais 氏は映像を使用して、それぞれの団体の業務を発表し、どのような目標を達成したか、パキスタンのそれぞれの町で障害のある人はどのような課題に直面しているかについて意見を交わした。



パンジャブ障害者福祉トラスト理事長 Izhar Ul Haq Hashmi 氏によりパネリストに盾が配布された。Hashmi 氏はフォーラム主催者と、実り多い議論を行い、十分に貢献している各団体の紹介を適切に行ったパネリストたちに感謝した。これらの団体は同じように障害のあるすべての人の基本的権利である権利に基づく社会構築のサービスに優れている団体である。

- も 主賓・モデレーター：Anam Shehzadi氏 (マイルストーン障害者協会)
- も ゲスト・スピーカー 1：Nay Lin Soe 氏 (ミャンマー)
- も ゲスト・スピーカー 2：Raheel Shireen 氏 (SLF)
- も ゲスト・スピーカー 3：Afshan Afridi 氏 (CARRY)
- も ゲスト・スピーカー 4：Sohail Yaseen 氏 (KEMC)
- も ゲスト・スピーカー 5：Komal Khan 氏 (CO)

マイルストーン障害者協会女性コーディネーターAnam Shahzadi 氏がこのセッションのモデレーターを務めた。Nay Lin Soe 氏は自身の団体、障害者サービス、達成した目標について短く紹介した。Raheel Shireen 氏、Afshan Afridi 氏および Komal Khan 氏は映像を使用してそれぞれの団体の業務を発表し、どのような目標を達成したか、パキスタンのそれぞれの町で障害のある人、特に障害のある女性はどのような課題に直面しているかについて意見を交わした。Sohail Yaseen 氏は障害のある自身の生活を短く話し、脊椎損傷の障害があってもどのようにすれば介助者サービスを活用して活動的な生活ができるかという報告をした。



元特別支援教育局事務局長 Fazil Cheema 氏によりパネリストに盾が配布された。Cheema 氏はマイルストーン障害者協会に対し障害者サービスを行っていることに感謝の意を表した。



- も 主賓・モデレーター：Sadia Vine 氏
- も ゲスト・スピーカー 1：Dao Thu Huong 氏（ベトナム）
- も ゲスト・スピーカー 2：Zahida Qureshi 氏（SSP）
- も ゲスト・スピーカー 3：Wajid Hussain 氏（ROSP）
- も ゲスト・スピーカー 4：Shakeel Khattak 氏（ペシャワール・イスラミア大学講師）

Sadia Vine 氏がセッションのモデレーターを務めた。Dao Thu Huong 氏は自身の団体、障害者サービス、達成した目標について短く紹介し、Wajid Hussain 氏はマイルストーンの支援を得て最近設立した障害者団体を紹介した。ペシャワール・イスラミア大学の講師 Shakeel Khattak 氏は自身の障害の経験と政府がいかにして、さまざまな分野で雇用割り当てを実施しているかについて語った。Zahida Qureshi 氏はムルタン市で働いており、大半が農村地域から成る南部パンジャブで障害者サービスを提供していることから、南部パンジャブで障害のある女性が直面している問題について語った。そして、障害のある女性が受け入れられて権利に根ざした社会の構築を支援できるようになる必要があると強調した。



障害のある人に義肢を提供する分野で貢献している Naushad Khan 氏により盾がパネリストに配布された。



- も 主賓・モデレーター：Ali Hamza 氏（マイルストーン障害者協会）
- も ゲスト・スピーカー 1：Lin Chun Chieh 氏（台湾）
- も ゲスト・スピーカー 2：Khursheed Alam 氏（SADA）
- も ゲスト・スピーカー 3：Zia Khan 氏（クエッタ・オンライン）
- も ゲスト・スピーカー 4：Saima Aslam 氏（サーヤ協会）

マイルストーン障害者協会の Ali Hamza 氏がセッションのモデレーターを務めた。台湾の Lin Chun Chieh 氏は自身の団体、障害者サービス、達成した目標について短く紹介した。Khursheed Alam 氏は、地元コミュニティの支援を得て最近ディール（KPK）に設立した障害者特別支援教育機関を紹介した。活動家の Zia Khan 氏はライブのウェブ・チャンネルを創設したが、これは障害者問題に焦点を当てて迅速な解決策を求めるものである。Saima Aslam 氏は、重度障害のある女性がいかにしてパーソナル・アシスタント・サービスを活用して活動的で生産的な生活を送ることができるかについて、自分のライフスタイルを語った。そして、障害のある人が直面するすべての課題に対する唯一の解決は自立生活であると付け加えた。



元陸軍の Asif Ullah Khan 氏により盾がパネリストに配布された。Khan 氏は訓練中に頸椎損傷を負い、今は介助サービスを活用して自立生活を送っている。最近障害のある人の役に立とうと脊椎損傷の合併症についての著書を執筆した。



- も 主賓・モデレーター：Ilyas Syed (フレンズ・オブ・パラプレジック-FOP)
- も ゲスト・スピーカー 1：Kaewkul Thantipistikul 氏 (タイ)
- も ゲスト・スピーカー 2：Laxmi Nepal 氏 (ネパール)
- も ゲスト・スピーカー 3：Umar Pervaiz 氏 (HEERA)
- も ゲスト・スピーカー 4：Fatima Imtiaz 氏 (Voice)
- も ゲスト・スピーカー 5：Allama Tanveer 氏 (Peace Motus)
- も ゲスト・スピーカー 6：Gul Hasan 氏 (Green Tiffin)
- も ゲスト・スピーカー 7：Abdul Moeed 氏 (RASOI)

フレンズ・オブ・パラプレジック・センター (FOP) の Ilyas Syed 氏がセッションのモデレーターを務めた。タイの Kaewkul Thantipistikul 氏は自身の団体、障害者サービス、達成した目標について短く紹介した。ネパールの Laxmi 氏はネパールで視覚障害のある女性が直面する問題、およびこの点に関して障害のある人がどのようなアドボカシーを実践しているかについて説明した。Umar Pervaiz 氏は自身の団体 HEERA、そのサービス、および権利に根ざした社会の構築に向けた取り組みについて紹介した。Voice 障害者協会で働いている Imtiaz Fatima 氏は協会が数年前に設立し、うまく活動している自立生活グループホームについて発表した。Peace Motus の Allama Tanveer 氏は社会の平和促進のための自身の団体の取り組みを説明した。Gul Hasan 氏は権利に根ざしたすべての人の社会の構築における Green Tiffin の役割を話した。Abdul Moeed 氏は重度の障害がありパーソナル・アシスタント・サービスを活用して自立生活を送っているが、ラホールに RASOI という名前のレストランを創設して起業家として活動し、コミュニティのほかの人のロールモデルとなっている。



ラホールのファウンテン・ハウスの理事長 Imran 氏により盾がパネリストに配布された。



賞・証書・盾配布式および交流会

賞・盾配布式が行われ、要人がゲストとボランティアに記念品を配った。ボランティアはこの国際フォーラムを最善のやり方で開催しようと何週間にもわたって働いてくれたセントラル・パンジャブ大学の学生たちである。



報告者: Ashar Virk 氏 (マイルストーン障害者協会所属)

